

H29. 9. 19



長尾和宏（ながお・かずひろ）
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。医学博士。近著「病気の9割は歩くだけで治る！」「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。59歳。

和の町医者日記



みなさんにとって、慢性膝炎はあまりなじみがない病名かもしません。ですが町医者の立場からは、決してまれな病気ではありません。

肺臓シリーズ⑦

M R C P (磁気共鳴胆管脾管造影) M R I 装置を使って胆管や胰管などの画像を撮影する検査。同様に胆嚢(たんのう)や脾臓の病変を調べる検査には内視鏡から造影剤を注入して X 線撮影する E R C P (内視鏡的逆行性胆管脾管造影)があるが、画像の鮮明さではやや劣るもの、患者への負担が少ないメリットがある。

く、75%がアルコールの多量摂取が原因とされています。一方、女性の半数はアルコールが原因ではなく、原因が分からない特発性とされています。アルコールと聞くとすぐに肝臓の障害を連想しがちですが、腎臓の細胞も破壊されます。缶ビール

き、栄養状態が悪化していくまです。また多くの場合、糖尿病を合併しています。

のセコンド係のように、患者さんの禁酒への道の伴走者なのです。腹痛や下痢などの症状に対しても消化剤やタンパク質分解酵素阻害薬などを処方しますが、完全禁酒できないとせつかくのお薬も無駄になります。

病気であります。
もし自己免疫性膝炎と診断されたら、ステロイド投与が奏功します。黄疸があつてもステロイドで消失します。その効果判定にはM.R.C.P（磁気共鳴胆管脛管造影）という検査が有用です。もしくステロイド治療に反応

る嫌酒薬や精神安定剤、睡眠薬などを服用しながら、完全禁酒を目指す人も増えています。時にはノンアルコールビールで我慢してもらうよう粘り強く説得します。地域の断酒会を紹介して、仲間同士で励まし合いながらお酒と縁を切つてもらうこと

万人あたりの患者数は4・6人。男女比は3・2対1で、平均年齢は66・3歳です。この病気は腹痛のほかに黄疸も発症します。血液検査を行うと、免疫に関する物質であるIgG4が高値を示します。画像診断で脾臓に腫瘍が認められることがあ

慢性睥炎と自己免疫性睥炎

大量飲酒や免疫異常が原因に

2本ないし日本酒2合を毎日飲み続けると慢性膀胱炎になりやすく、女性のほうがアルコールに弱いとされる分、大量飲酒者でなくとも慢性膀胱炎に至ってしまう場合があります。

一断層撮影装置)、腹部MRI(磁気共鳴画像装置)などの画像診断では、膀胱の拡張や膀胱石の有無をチェックします。慢性膀胱炎の患者にはアルコール依存症の人が少なくなく、脳

てもつらいものです。また血糖管理や栄養管理など、さまざまな制限が必要になります。だから慢性膵炎こそ早期に診断して、完全禁酒など医師の早期介入が必要な病気だと思います。

しないようなら、腫瘍がなんどの他の病気も考えないといけません。しかし、ステロイドを中心止すると再燃することがあります。このため、昨年に難病

2本ないし日本酒2合を毎日飲み続けると慢性膝炎になりやすくて、女性のほうがアルコールに弱いとされる分、大量飲酒者でなくても慢性膝炎に至ってしまう場合があります。

慢性膝炎の自覚症状には、みぞおちや背中の痛み、吐き気などがあります。患者さんには、便に肉眼でも分かるほど脂肪が混じる「脂肪便」がないかどうかも必ず聞きます。病状が進行するに従い下痢や体重減少が起

（磁気共鳴画像装置）などの画像診断では、膀胱の拡張や膀胱石の有無をチェックします。慢性膀胱炎の患者にはアルコール依存症の人が多くなく、脳の萎縮や肝硬変なども合併していることがよくあります。このため、以前は精神科に長期入院して禁酒することも必要な病気でした。

しかし、最近では軽症の場合には外来でお酒を飲むと不快にならなかった。

でもつらいものです。また血糖管理や栄養管理など、さまざまな制限が必要になります。だから慢性膀胱炎こそ早期に診断して、完全禁酒など医師の早期介入が必要な病気だと思います。

慢性膀胱炎とよく似た症状の病気に、自己免疫性膀胱炎（A I P）という難病があります。平成7年に免疫異常が原因で発症する膀胱炎が日本から報告され、それが発端となつて現在は世界中で研究されています。人口10

しないようなら、臓器がんなど他の病気も考えないといけません。しかし、ステロイドを中心止すると再燃することがあります。このため、昨年に難病に指定されました。

いずれにせよ腎臓がんと鑑別することが大切です。そして慢性腎炎も自己免疫性腎炎も、経過中に腎臓がんが合併してくることを念頭においておかなければいけません。